

ご存知ですか? 「ソーラーシェアリング」。

田や畑を続けながらできる、  
太陽光発電があります。

太陽の恵みを、作物とパネルでシェア(共有)。  
農業収入に売電収入をプラスできます。

農業を続ける人を応援するために、田畑の上へ太陽光発電パネルを設置する「ソーラーシェアリング」が可能になりました。専用の高い架台を使うことで、農作業の邪魔にならない形で太陽光発電をすることができます。発電した電気を売ることによって収入を得られるだけでなく、田畑に日陰を作ることにもなり、炎天下の作業が少しラクになるというメリットも。

### ソーラーシェアリング向けの農作物



サツマイモ



ダイコン



ジャガイモ



ニンジン

この他にも露地栽培ができるものであればほとんどが可能です。イネやナス、ホウレンソウやアシタバなども実際にソーラーシェアリングの畑で栽培されている例があります。光をどれくらいさえぎるかは作物によって決まってくるのでまずは一度ご相談ください。

# ソーラーシェアリングで、「農業」と「太陽光発電」を両立。



ソーラーシェアリングは、地上から約3mの高さにパネルを設置しながら営農を続けることをいいます。2013年から農水省に公認された新しい形の農業で、収入の増加によって後継者不足や耕作地放棄などの諸問題を解決できる可能性があるとして期待されています。田畑に架台を設置するのは「一時転用」となり、3年ごとに更新が必要になる代わりに、農地のままでできるので農地転用の手続きや固定資産税の値上がりがない、というメリットがあります（農業委員会の対応による）。

## ココが気になる！ソーラーシェアリングのギモン



太陽がさえぎられると農作物に影響が出るのでは？

植物の生育には一定量の光で充分なことが多く、光をいくらさえぎっても成長に影響がないものがほとんどです。一般的には光の7割を農作物に、3割をパネルに当てるように配置します。



設置にはどれくらいの土地が必要なのか？

一般的な畑の広さがあれば充分です。参考の数値として25㎡で1.2kwほどが設置可能。仮に1反とすれば40倍で48kwとなり、電力単価25.92円の場合年間で約124万円の収入となります。\*電力単価は平成28年4月現在のもの



トラクターなどは問題なく使えるのか？

農作業の邪魔にならないように、架台の高さや支柱の幅を設定するのがソーラーシェアリングの条件ですので、ご心配は不要です（トラクターのサイズなどを調べて設定します）。



設置まではどのような手続きがあるのか？

農業委員会に対して農地の一時転用許可申請、経産省への設備申請などがありますので数か月は必要です。申請の手続き代行などについても承りますので、お気軽にご相談ください。



## 遊休地や田畑からの転換による太陽光発電もご相談承ります。

ご家庭の事情などで田畑を続けていけなかったり、土地を余らせてしまっている場合は、農地転用から太陽光発電基地にすることも可能です。田畑がないぶん大型のパネルが設置できます。



お問い合わせはこちらまで

TEL(082)293-3388

FAX(082)233-6061



日本サンライズ株式会社

広島市西区南観音6丁目6番27号  
URL [www.nihon-sunrise.co.jp](http://www.nihon-sunrise.co.jp)  
Email: [info@nihon-sunrise.co.jp](mailto:info@nihon-sunrise.co.jp)